



キャンパスライフ

Tottori University Yonago Campus

NO.16

2020年2月
発行/鳥取大学医学部

鳥取
Tottori



米子
Yonago

の大移動



鳥取大学の医学部がある米子キャンパスは、鳥取キャンパスと約90キロ離れた鳥取県の西部に位置しています。医学部3学科のうち生命科学科及び保健学科の1年次の授業は鳥取キャンパスにて、2年次以降は米子キャンパスにて行われるのですが、1年次に米子キャンパスで開講される授業もあります。今回は、保健学科看護学専攻の学生の米子キャンパス授業をご紹介します。



移動編 ~鳥取市から米子市へ~

保健学科看護学専攻1年生。授業は主に鳥取キャンパスで行われているため、学生は鳥取市周辺にて学生生活を送っていますが、後期になると週に2日、米子キャンパスでの授業が始まります。今年度の授業は木・金曜日。木曜日の朝に鳥取市から米子市へJRで移動し、米子駅から米子キャンパスまでキャリーケー

スをひいて徒歩で通学します。宿泊は大学が手配した米子駅前のビジネスホテルにそろって宿泊。宿泊費・JRの交通費は大学が負担しています。2年次からの米子キャンパスでの学生生活もイメージしやすくなるのではないのでしょうか。

授業編 ~米子キャンパスならではの授業~

では、なぜわざわざ米子キャンパスまで来て授業を行うのか？それは、米子キャンパスの施設・設備でしか行えない授業があるからです。今回お邪魔したのは「生活援助論演習Ⅰ」、この日の授業では生命の徴候を観察する技術として、血圧を正確に測定する方法を学びます。現在は自動の血圧計が主流となっていますが、血圧測定のおもしろさを理解するため、手動の血圧計と聴診器を用いて測定をします。

この日は血圧計を用いた授業でしたが、この他にも実習室の設備を使ってベッドメイキングや体の向きを変える・体を起こす方法などの看護技術の基礎を学んだり、附属病院の病棟で患者さんの協力を得て実習を行っています。これらは、看護師の夢実現に向けて欠くことのできない大切な授業となっています。



とっとり花回廊(西伯郡南部町)

医学部から名峰大山のふもとをぐるっと車で走ること約30分、鳥取県西伯郡南部町に「とっとり花回廊」があります。ここは約50ha(東京ドーム約11個分!)もの広さを誇る日本最大級のフラワーパークで、1年をかけて四季折々の花を楽しむことができます。

園内には巨大なガラス温室のフラワードームや、庭園を見おろしながら散歩のできる約1キロの展望回廊などがあり、これからの季節、様々な花が咲き始めます。2月はクリスマスローズ展やパンジー・ビオラ展、3月はらんまつりも開催。そして4月の花回廊は春爛漫。園内のいたるところでチューリップが咲き誇る中、ゆっくり春を感じに出掛けてみてはいかがでしょうか？



医学部での研究!

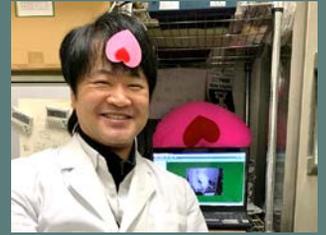
「こころ」は心臓にあると思いますか?

答えは「NO(脳)」です!

もし、私たち一人一人が持つ人格や記憶、感覚などの「こころ」が心臓にあったら、人工心臓を使うと「こころ」が失われることになってしまいます。では、それはどこにあるのか…答えは「脳」です。

私たちの研究室では、「こころ」の働きのなかでも、特に「攻撃性制御(攻撃の適切性の判断)」について研究しています。この攻撃性制御は、脳のなかにある眼窩前頭皮質(がんかぜんとうひしつ)が関係していることが分かっています。この眼窩前頭皮質を損傷すると不適切な攻撃が増加すると想定されます。我々は現在、不適切な攻撃性を示す児童虐待やいじめのモデルラットを作製し、その改善方法の開発を試みています。

不適切な攻撃性の治療法開発をとおして、疾患に関する知識を広めることで問題への理解を深め、未来の子ども達の明るい笑顔に貢献したいと考えています。



生命科学科
生体情報機能学講座
神経生物学
一坂 史志 助教

バドミントン部

DATA

【部員数】61名(男28名、女33名)

【2019年度 中国大会の主な成績】

<男子>団体:優勝

個人戦:ダブルス 準優勝

<女子>個人戦:シングルス 優勝/ダブルス 優勝

【活動日】 合同練習:火曜日・木曜日

その他 自主練あり



こんな活動をしています

ノック等の通常練習や大会参加のほか、冬の部活納めにはクリスマス杯(男女学年混成チームの団体戦)をしています。その他にも錦祭の出店や大会ごとの打ち上げはもちろん、新入生の親睦を兼ねて春には運動会やお花見などのイベントも盛りだくさんです。

バドミントン部のいいところ



男女、レベル差関係なく仲が良いのが自慢です。部活の思い出が詰まった写真の枚数はどこの部活にも負けません!

サークル特集vol.VII

TC-SARCH

DATA

【部員数】19名

(男子14名、女子5名)

【活動日】1~2週間に1日(原則木曜日)

医師として働く上で必要となる臨床推論の考え方を身につける

こんな活動をしています

プレゼンターが症例を提示し、みんなで臨床推論をするという活動をしています。病院で活躍中のOB、OGの方がプレゼンターを務めることも。



※そもそも臨床推論とは…? 患者さんの症状からどのような疾患が疑われるか、どのような問診・検査をすることで可能性の高い疾患を絞り込むことができるのかを考えること。

TC-SARCHのいいところ

臨床推論は授業でとりあげられることがほとんどないため、総合診療の道を志している人にとっては魅力的なサークルではないでしょうか。優秀な部員が集まっていますので、切磋琢磨しスキルアップできること間違いなしです!!

ホスピタルアート

近年、海外だけでなく国内でも盛んになってきているホスピタルアート。本院においても院内廊下の2カ所にて展示しています。

病院を利用するすべての人に笑顔をお届けられますように。

【がんセンター前渡り廊下】

鳥取大学地域学部の学生5名が鳥取から通い「四季」と題した作品を制作。



【小児病棟】

絵本作家の武内 祐人さんと本院スタッフ3名が「笑顔」をテーマにたくさんの可愛い子どもや動物の絵を制作。



生協食堂

豚肉と大根の中華スープ



★生姜を効かせた寒い冬にぴったりのスープ

★2/10~2/14の限定メニューです

その他、週替わりメニューをたくさん準備してお待ちしています!!



編集後記

この度、1年間の育児休暇より戻ってまいりましたYです。母親になった今、一番実感しているのは、「親の心 子知らず」です。学生のみなさん、たまにはご両親にお電話を。(広報係Y)

発行/鳥取大学医学部(総務課広報係)

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

TEL:0859-38-7037 e-mail: me-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp